

単元まるごと計画「生き物を守ろう」（全8時間）

単元のゴール（can-do）：守りたい生き物について、そのすみか（They live in）とこまっていること（... is a big problem.）、わたしたちにできること（We can）をグループのポスターで伝え合い、生き物と自分たちのくらしのつながりを考える。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	Where do ~ live? / They live in / ~ is a big problem. / We can などの表現について理解しているとともに、守りたい生き物について、そのすみかや自分たちにできることを伝え合う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生き物と環境について考えを共有するために、守りたい生き物やそのすみか、自分たちにできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	生き物と環境について考えを共有するために、守りたい生き物やそのすみか、自分たちにできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全8時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	SO	先生の好きな生き物の話を聞く（Where do ~ live? に会う）	歌／チャンツ	記録なし
2	SO	生き物とすみかの言い方練習（絵カード）＋いきものペアさがし（活動1）	Small Talk①話題1（先生の好きな生き物）	記録なし
3	YT	生き物がこまっていることを知る（~ is a big problem.）	歌／チャンツ	記録なし
4	YT	We can ~. でできることを出し合う（ポスターの下書き）＋書きWS①	Small Talk①話題2（海のごみ）	記録なし
5	EC	ポスターの台本を仕上げ、役わりを決めて練習（活動2）	歌／チャンツ	◎ 行動観察・台本点検（知技）
6	EC	ポスターセッション①（説明係⇔見学係を交代）→中間指導	歌／キーフレーズ暗唱	◎ 行動観察（思判表）
7	OH	世界の生き物と自然を聞く（教科書OH）＋ポスターセッション②→おわりに「できること」ランキング発表	歌／チャンツ	記録なし
8	OH	パフォーマンステスト（説明＋Q&A）＋単元の振り返り	なし——テストに使い切る	◎ テスト（知技・思判表）＋振り返りカード（態度）



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（教科書付属音源）
5-10	Small Talk／チャンツ	Small Talk台本①
10-15	生き物のことば練習	絵カード
15-17	めあての確認	—（黒板に4文の型）
17-37	主活動 ※途中で中間指導	活動シート1～2
37-45	振り返り（1行）・あいさつ	振り返りカード（汎用）

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. いきものペアさがし（第2時）は1回でやめる（2回目は朝の時間や雨の日の予備に回せる）
- 2. ポスターセッションは1回7分厳守（延ばすと第7時の②が消える）
- 3. OHの「世界の生き物」は聞いて1つ気づきを言えたらOKに圧縮してよい
- 4. 書きWS①の3ブロック目は宿題に回してよい（音声で言えていることが先）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ 絵カード（提示用1部＋ペアさがし用に班数分×2部）
- ☐ 活動シート1～2（各時間、人数分）
- ☐ 書きワークシート①（人数分）
- ☐ パフォーマンステスト式（先生用・第8時）
- ☐ 振り返りカード（汎用の型・単元名だけ書き換え）
- ☐ 模造紙または画用紙（グループのポスター用・第5時／班の数だけ）
- ☐ 交代の合図になるもの（タンバリン・鈴など。ポスターセッション用）

配慮が必要な子へ

- ・生き物の知識の量で差がつかないようにする。すみかは絵カードと早見表で示し、「調べてきた子が有利」にしない
- ・「家でやっていること」を聞かない。買い物のしかたや持ち物は家庭の事情に直結する——教室・学校でできることを全員で出し合ってから選ばせる
- ・こわい話にしない。生き物が減っている強い言葉や写真は使わず、「いっしょにやろう」の言い方でそろえる
- ・英語の文の数で評価しない。ポスターを指す・ジェスチャー・絵で補うのも「伝える工夫」として同じ土俵で見る

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・小学校英語で初めて「英語で社会の課題を考える」単元。深い議論は理科「生物と環境」や社会に預け、英語の時間は「4文で言えた」を喜ぶ——ここを混同すると45分が日本語の話し合いで終わる。こまっていること（problem）を絵カードにしようとするのも同じわなで、活動シートの表とことばバンクで足りる
- ・Where do ～ live? は疑問詞＋do の形だが、文法説明はしない。「すみかを聞くときの決まり文句」として音のかたまりで入れる（答えは always They live in＝三単現の -s が出ない設計）
- ・できることは実現可能な小さいことに寄せる。大きな宣言より We can pick up trash. の方が、次の日の行動に変わる